

ホクレン営農支援情報

(2020年10月号)

● YouTube「ホクレン アグリポートチャンネル」を開設 《営農支援推進課》

営農支援推進課では、動画投稿サイト YouTube に「ホクレン アグリポートチャンネル」を新たに開設しました。

このチャンネルでは、「北海道の生産者の営農に役立つ」をキーワードに、さまざまな動画を順次公開する予定です。動画は、ホクレン営農情報誌「アグリポート」の記事と連動したものはもちろん、誌面では紹介できなかった動画なども掲載します。

ぜひチャンネル登録いただき、日頃の営農のための情報収集にお役立てください。



YouTube「ホクレン アグリポートチャンネル」は右記の2次元コードまたは下記 URL からご覧ください。

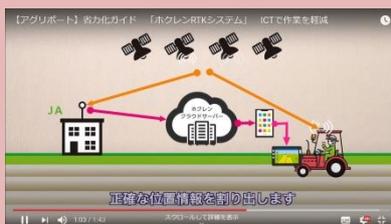
<https://www.youtube.com/channel/UC4Dt4CyXyMsKSVtofG4dprw>



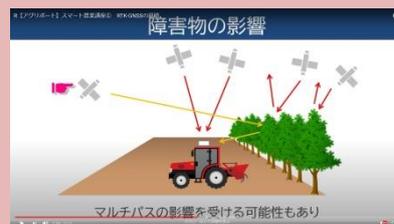
公開している動画（一部抜粋）



トラクター整備入門



省力化ガイド



スマート農業講座

●オホーツク農作業安全フォーラムを開催 《北見支所 営農支援室》

オホーツク地区農作業安全運動推進本部（オホーツク総合振興局・農業改良普及センター・中央会・ホクレン）の主催による「オホーツク農作業安全フォーラム」を8月26日に紋別市、8月27日に網走市で開催しました。オホーツク地区では、令和2～4年度の3カ年を「農作業事故ゼロ推進キャンペーン」期間と位置付け、啓発活動の活発化を図ることとしており、そのキックオフとしての開催となります。

当日は、農業者・JA職員・市町村・関係団体などが参集し、農研機構 安全技術ユニットの積ユニット長による講演および農業改良普及センターからの情報発信を行ったほか、農業者代表による「オホーツク農作業事故ゼロ宣言」の決意表明を行い、満場一致の拍手で採択されました。また、これに合わせて「私の農作業安全宣言」カードを作成し、今後地区内の農業関係者への配布を計画しています。



「農作業事故ゼロ宣言」をするオホーツク農協青年部協議会の桑名会長（左）と高野副会長（右）



講演を行う農研機構の積ユニット長



「オホーツク農作業事故ゼロ宣言」の内容は左記2次元コードからご覧いただけます



「私の農作業安全宣言」カード

●業務用トマトの生産体系確立を目指して 《岩見沢支所 営農支援室》

JA そらち南ではホクレンや農業改良普及センターなどと連携して、業務用トマトの生産体系の構築を目指しています。

業務用トマトとは、ハンバーガーなどの具材に使われるトマトで、近年需要が高まっています。2018年から取り組みを開始し今年で3年目。青果用トマトと異なり、技術的な知見も少なく栽培は難しいですが、メリットも多い品目です。詳しくはアグリポート27号（10月1日発行）で紹介しています。



生育中の様子

●第4回おしま農業のお仕事フェアを開催 《函館支所 営農支援室》

渡島管内では、農業分野における情報共有と課題解決を目的として、行政機関・普及センター・試験研究機関・農協・ホクレンをメンバーとする「渡島



フェア告知のポスター



フェアの様子

農業振興連絡会議」を平成30年度より設立し、各課題毎でプロジェクトを立ち上げ解決に向け取り組んでいます。

そのような中、ホクレン函館支所では渡島総合振興局と連携して、新規参入者、酪農へ

ルパー、パート人材の募集を目的とした相談会「おしま農業のお仕事フェア」を9月6日、函館市内の函館蔦屋書店で開催しました。当日は農業分野への就農・就労に興味のある方々が来場され、担当者からの説明を熱心に受けていました。

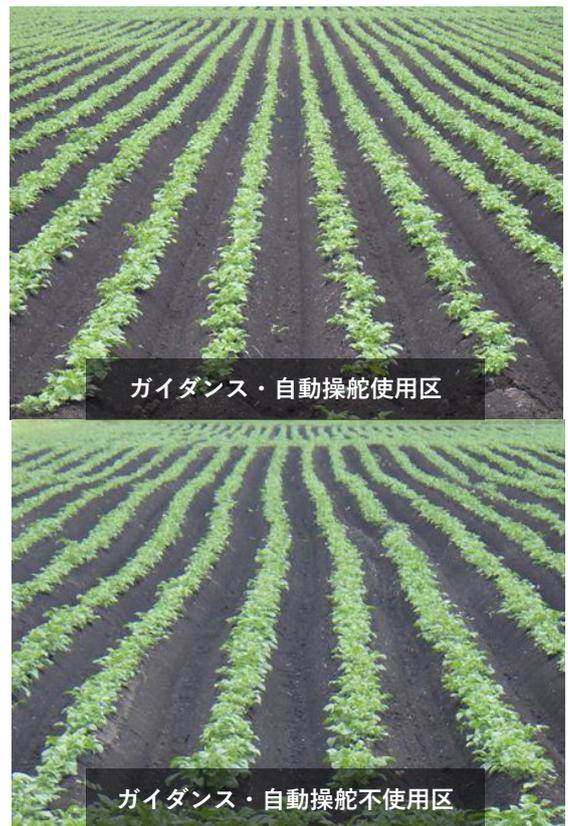
● ガイダンスシステムと自動操舵補助装置の効果 《訓子府実証農場 農産技術課》

急速に普及が進む GNSS ガイダンスシステムと自動操舵補助装置。訓子府実証農場では、馬鈴しょ栽培において、これらの装置を使用した場合と不使用の場合で、作業時間や直進性の及ぼす効果などを比較しました。

その結果、一部の工程では作業速度がアップしたほか、直進性や畝間精度の向上などの効果で増収の可能性を確認できました。これは、計算上は最大104本の畝を確保できる大きさの試験圃場において、不使用区の場合は一部蛇行等の影響で100本しか確保できなかった一方で、自動操舵を使用することできちんと104本の畝を確保できたことが理由です。

また、走行中は自動操舵により多くの時間を後方確認に割くことができました。この様子は動画でもご確認いただけます。

詳しくはアグリレポート27号（10月1日発行）で紹介しています。



両試験区の直進性の違い

GNSSガイダンスシステム・自動操舵補助装置を使用した場合のオペレーターの目線の比較（馬鈴しょ収穫作業時）



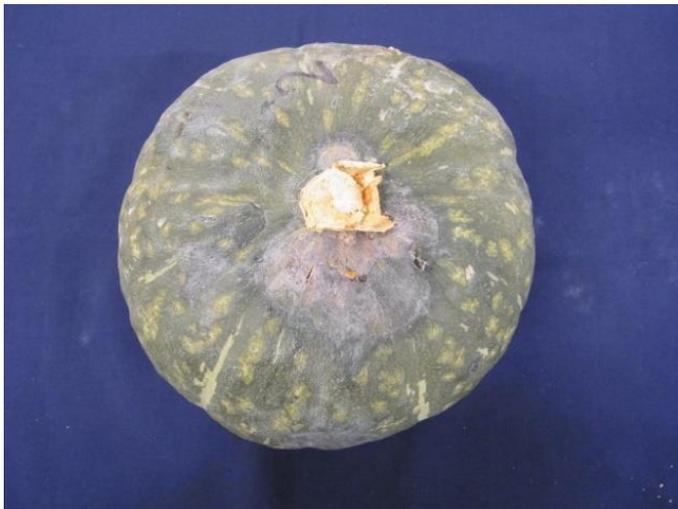
<https://youtu.be/ORJXS1k7G4k>

視認調査の様子【動画】

●かぼちゃの貯蔵腐敗低減に向けた研究 《長沼研究農場 営農技術課》

カボチャつる枯病をはじめとする貯蔵中の果実腐敗は歩留低下の大きな要因であり、近年道内で問題となっています。

営農技術課では、貯蔵腐敗の低減を目標に発生生態や対策法に関する試験研究を行っています。先日、かぼちゃの果実を収穫しました。今後は収穫した果実にさまざまな処理を施して貯蔵試験を行い、定期的に腐敗調査を実施する予定です。



カボチャつる枯病に罹病した果実



収穫後の果実

●水稻の新品種候補の調査 《バイオ研究センター 畑作物開発課》

ホクレンバイオ研究センターでは、水稻の品種開発に取り組んでいます。新品種の候補となる系統は、複数の地域で収量性などを調査する必要があります。7～9月に関係機関の試験圃場において、有望系統の穂の出る時期、穂の数、倒れにくさなどの調査を行います。



した。これから収穫および脱穀し、収量性や品質の調査を行い、新品種としての有望度を判断する予定です。

● アグリポート 27 号を発刊 《営農支援推進課》

10月1日にアグリポート27号を発刊しました。特集は「ICTの基礎知識 PART2 最新ドローン活用術」です。

近年、農薬散布を中心にドローン導入が加速しています。ドローンでの作業に必要なことや、生産現場での導入事例などを紹介しています。

また、その他のコーナーでも、「自動操舵トラクター」や「分娩監視装置」の導入効果、稲作用の新たな「自動給水装置」など、さまざまなスマート農業に関する内容を動画を交えて紹介しています。導入を検討されている方はぜひ参考にしてください。



● 自動操舵トラクターについて学ぶ 《営農支援推進課》

今月発行のアグリポート 27 号の特集は上記のとおり「ICTの基礎知識 PART2 最新ドローン活用術」です。これを機に、アグリポート 13 号に掲載した「ICTの基礎知識 PART1 基礎からわかる! 自動操舵トラクター入門」も見直してみたいはいかがでしょうか。

下記の URL からご覧いただけますので、参考にしてみてください。

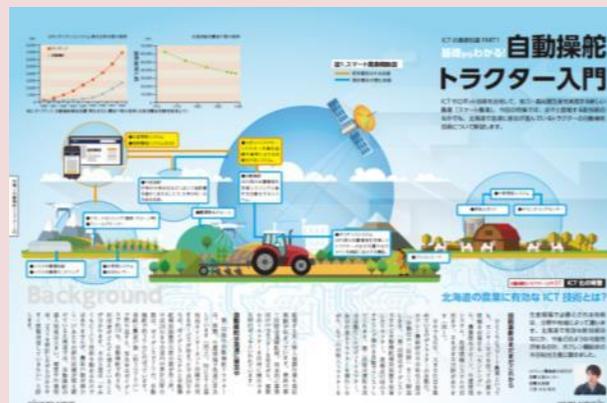
バックナンバー アグリポート 13 号

特集「基礎からわかる！自動操舵トラクター入門」

- 北海道の農業に有効な ICT 技術とは？
- イチからわかる、自動操舵トラクターの基本
- 現場で活用するために必要なステップこそ、重要です。
- 自動操舵トラクターで農作業が変わる！
- 自動操舵はメリットがいっぱい！



https://www.hokuren.or.jp/ko_uho/ap/backnumber/13.pdf#page=4



内容についてのお問い合わせは ホクレン岩見沢支所営農支援室 まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp